

# 令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月26日(土)①

担当部局・担当課名: 教育委員会教育企画課

事業名	とやま科学オリンピック開催事業	評価結果	一部改善
-----	-----------------	------	------

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

### 【委員の意見】

- ・参加していない子供たちの、参加しない理由を把握するべき。
- ・自ら考えて取り組む生徒を育てたいということであれば、参加者がどのようなことを事前に準備してきたか把握をするべき。
- ・参加者だけではなく、科学への興味の裾野を広げる努力がもっとあってもよい。
- ・中学チームが7年ぶりに全国優勝を果たしたというところが一つの評価になるのであれば、事業目的をこちらに特化するという考え方もある。
- ・科学の甲子園の予選として外注してはどうか。

### 【県民評価者の意見】

- ・多くの生徒に興味を持ってもらえるように、毎回1校をランダムに選んで参加してもらおうと面白いのではないかな。
- ・作問に意欲的な志の高い教員を作問委員として選ばばよい。
- ・科学はすぐに成果を評価できるものではなく、10～20年後に発明に繋がるかもしれない。評価しづらくてもそのままよい。

## 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者の評価シートによる評価				県民評価者総数	16
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業の廃止)	役割分担 見直し (実施主体の変更)	抜本的改善 (県の独自性不要等大 きな考え方を見直し)	一部改善 (アンケートの取り方、 経費などの見直し)	現行どおり ・拡充
	3	0	2	10	1
県民評価者の 主な コメント	<b>【一部改善】</b> ・もともと科学に興味のある子が参加しているため、事後アンケートの評価は当然高くなる。目標や成果の見直しが必要ではないか。 ・子供たちの科学力向上、教育等指導者の資質向上のどちらに力を入れるのかわからない。 ・チラシを見たことがなかったので、認知度向上も目指したらよいと思う。 ・作問にかかる教員の負担を減らすために、研究者に頼るなど、見直しが必要だと思う。 ・設問作成を外注するのがよいのではないかな。 ・ふるさと教育の要素は不要ではないか。				
	<b>【行政の関与不要】</b> ・行政の役割として広く、子供たちの科学に関する関心を高めることにある。 ・既に科学に興味を持っている子供たちに競わせるのも必要だが、もっと裾野を広げることも必要ではないか。 <b>【抜本的改善】</b> ・中学校、高校に対する周知不足ではないか。 <b>【現行どおり・拡充】</b> ・事業を知らなかったなので、もう少し宣伝等をしたほうがいいのかと思う。				

## 【参考】委員による評価

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	1	2	1

<b>事業名</b>	とやま科学オリンピック開催事業	<b>評価結果</b>	一部改善
------------	-----------------	-------------	------

**【県の対応】**

今後の対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	○参加者確保に向けて、市町村教育委員会を通じた生徒へのPR強化のほか、アンケート項目の見直し等により参加生徒の意識把握や事業改善を図る ○解答手段としてタブレット端末を導入して出題を工夫したり、解答方法のクラウド化により採点を効率化することに加え、作問や運営に外部人材を増やすことで、従事教員の負担軽減を図る				
令和6年度当初予算での対応	R6当初予算(要求額)	9,800(千円)	R5当初予算	8,515(千円)	増減額 +1,285(千円)
	増減理由	解答方法のクラウド化やタブレット端末の導入等による増			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6年度当初予算	要求状況	要求額	9,800(千円)	前年度予算額	8,515(千円)	
		事業の目的	中高生の科学的・論理的思考力及び課題発見・解決能力の育成			
		事業内容	採点ソフトやタブレット端末の導入等の見直しを図り、引き続き「とやま科学オリンピック」を開催  ①作問、大会運営 特色ある問題や実験の実施(STEAM教育や協働的な学びを取り入れた実験や問題の出題)と採点ソフトの導入による効率化  ②参加者確保 県内全ての中高生(高専含む)へのチラシ配布、参加者への記念品配布、上位入賞者への表彰・記念品授与、継続参加者への記念章授与  ③タブレット端末の導入(60台、リース料)			
		積算内訳	①6,065千円、②2,735千円、③1,000千円			
	予算編成過程における議論	○レビューにおける意見を踏まえ、市町村教育委員会を通じたPRや、解答方法のクラウド化による採点効率化、運営に外部人材を増やすなど、適切な見直しが行われている。 ○タブレット端末本体については、すでに配備している1人1台端末の活用が可能ではないか。				
最終的な予算案	予算額	8,800千円				
	要求時点からの変更点	タブレット端末のリース料 ▲1,000千円				